

【リハビリテーション学部生】感染症が疑われる場合の対応について

(インフルエンザ等を疑う場合を含む)

2021.12改定
(復学の考え方第12版)

関西医科大学 リハビリテーション学部 医務室

【症 状】

- ※息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱、味覚・嗅覚障害等の症状のいずれかがある。
- ※**37.0℃以上**の発熱、咳、鼻汁など比較的軽い風邪症状がある
- ※その他、感染症特有の症状がある

【保健室へ報告する】

平日・時間内 : 電話 ①072-856-2129(医務室)
②072-856-2115(事務室)

休日・時間外 : メール kmu-reha@makino.kmu.ac.jp (報告用)

かかりつけ医もしくは居住地の保健所、帰国者・接触者相談センターに相談する

居住地の保健所、帰国者・接触者相談センターから紹介された医療機関を受診する

診察可能なかかりつけ医を受診する

PCR検査実施

PCR検査なし

PCR検査センター
で受検

【陽性者】

- ・保健所の指示で、自宅・ホテル・入院療養が判断される(概ね10日間)
- ・登校・外出禁止
- ・毎日、朝・昼・夕の健康チェックを行い医務室に報告する
- ・症状に変化があれば医務室に連絡する
- ・また、居住地保健所に連絡し、指示を仰ぐ

保健所からの療養期間終了後、附属病院を受診し、登校可能かの判断を仰ぐ
「本学における新型コロナウイルス感染症に関する復学・復職の考え方」に準ずる

- ・登校開始
- ・医務室で健康状態の確認を行う

【陰性者】

- ・学外病院で発症から2日目までにPCR検査をした結果「陰性」であった。
- ・毎日、朝・昼・夕の検温をメール報告
- ・復学は解熱後2日経過し、3日目に附属病院受診し、胸部CTで異常がなく、味覚・嗅覚障害がなければ復学許可となる。

【濃厚接触者】

- ・保健所から「濃厚接触者である」と連絡があれば登校・外出禁止(概ね14日間)
- ・保健所の指示でPCR検査を受ける
- PCR検査陰性: 指示期間自宅隔離
- ・朝・昼・夕の検温をメール報告

- ・登校開始にあたり、受診・PCR検査の有無は附属病院に判断を仰ぐ

【濃厚接触者とは】

- 陽性者が症状を呈する 2日前から
- ・同居
 - ・長時間の接触 (車内や航空機内など)
 - ・マスクを外して会食をしたり、3密の状況を過ごした者 (1m以内で15分以上)
- * マスク着用での同教室での講義受講は、濃厚接触としない
最終的には、保健所の指示

登校禁止中、症状の有無にかかわらず、遠隔授業に参加できれば出席とする

*ただし、状況により変更する場合がある